

「五輪より命が大切」の立場にたち、中止の決断を求め続ける

～ 7/23 日本共産党の提言をご紹介 ～

(1) 「五輪より命が大切」の立場から、日本共産党は、今年1月以来、五輪を中止し、コロナ対策にあらゆる力を集中することを求めてきました。五輪が強行されても、命を守ることを最優先にする立場を揺るぎません。開会の途中でも、中止を決断することを求め続けます。

(2) 東京の感染が、過去最悪ペースで増えるなど、国内の感染はきわめて深刻です。すでに病床が逼迫し、医療崩壊の危機も差し迫っています。

緊急事態宣言を出しながらの五輪開催は、国民への誤ったメッセージとなり、感染を抑止するうえでの重大な障害となっています。



たとえ「無観客」であっても、選手、大会関係者、警備や輸送、ボランティア、報道関係者など、数十万人にのぼる巨大イベントは、感染拡大のリスクを大きく増大させています。

大会関係者の感染が連日明らかになるなど、「バブル」は穴だらけです。「安全・安心の大会」という日本政府、東京都、IOCの言い分は完全に崩壊しています。

世界を見ても、パンデミックは、デルタ株のまん延など深刻化しています。そのもとで「世界最大のスポーツの祭典」を開催することが、世界にウイルスを拡散させる一大契機になるとの警告が発せられています。

(3) 「多くの人々の命にリスクをもたらしながら、なぜ五輪を開催しなければならないのか」。この根本的な問いに、菅首相は、いまだに答えられません。

(4) 以上の諸点にてらし、今回の五輪開催が間違いであることはあまりにも明らかです。この間違いは、開会を強行することで、決してあいまいにしたり、なし崩し的に容認したりすることをしてはならないものです。

「五輪より命が大切」の立場にたち、中止の決断を。思想・信条の違いをこえ、この一点で、力をあわせましょう。

日本共産党は、命を守ることを最優先にする立場を貫き、国内外の多くの人々と手をたずさえて奮闘する決意です。

こちらから全文をお読みいただけます→



【生活保護制度】 扶養照会は義務ではない年金を受け取っていても、仕事をしていても、最低生活費に満たない方は利用できる制度です。ひとりで相談に行くのが不安な方はどうぞご連絡下さい。

【緊急小口資金】

貸付上限額 20万円以内

☆ 据置期間 1年以内

☆ 返済期間 2年以内 (24回以内)

☆ 連帯保証人不要

☆ 無利子 ☆ 無担保

☆ 令和3・4年度のどちらかが住民税非課税の場合、返済免除に



社会福祉協議会(電話:042-394-6333)が申請・相談の窓口です。

浅見みどり(080-3086-2422)まで、お電話下さい。一緒に窓口に行きましょう。

救急車を呼ぶか迷ったら…



#7119

または

042-521-2323

経口補水液の常備、のどが渇く前の水分を!

夏のマスクは熱中症リスクがあります。

変だなと思ったら休息を。



いのちを守る対策を!

しんぶん赤旗(月額3497円) しんぶん赤旗日曜版(月額930円)市民の声でつくるメディア。ぜひ購読ください。

浅見みどりの活動を紹介しています。

東村山民報

2021年 8月号外

■東村山市多摩湖町1-18-4 浅見みどり